

# 幸せで暮らしやすいまちを つくりまします！

## 山岸正裕市長初登庁

11月23日告示の勝山市長選挙で、無投票で3選された山岸正裕市長が、青空が広がった12月1日に初登庁しました。  
市役所玄関前で130人の市職員の出迎えを受け、女子職員から花束を手渡された山岸市長は、にこやかに応えていました。



3期目となる今後の4年間について、山岸市長にお聞きしました。

### Q 基本政策について

自治体行政の究極の目的は、「市民が幸せに住むことができる町をつくり、健全に運営し続けること」です。その実現のために、少子高齢化と人口減少を受け入れながら、視点を変えた取り組みによる「活力の再生」が必要であると考えます。  
今は地方から都会への人口流出となっていますが、逆に、地方を指向する人が増える時代が必ずくると思っています。

そこで、このような時代を先見し、勝山市を、住む人にとって「いい町」にすることによって、地方を指向する人にも勝山市が選ばれる町になります。  
「勝山市は、日本で一番住んでみたい魅力的な町」と言われる町をつくりたいと思っています。

### Q 日本で一番住んでみたい魅力的な町について

一言で言えば、「安全安心して暮らせる、こころ豊かで美しく住みよい町」です。

「安全安心」とは、災害や犯罪がなく、もし起こったとしてもすぐに対処ができて、しかも医療施設が揃っている

ことです。

「こころ豊か」とは、物質的な豊かさだけでなく、精神的な豊かさへの欲求を満たすことができることです。それには、自然や景観が保全されていること。固有の歴史や伝統や文化が保存され、目で見て、触れることができること。豊かな探究心に応えられる素材があること。そして豊かなコミュニティがあることです。

「美しい」とは、町も自然も美しく健康であること。地球環境を汚さず清潔であること。住む人がその意思と気概を持ってその実践があることです。

「住みよい」とは、行政とコミュニティがしっかりとれていること。人と人との支えあうことができる地域社会が存在することです。

このような条件の町をつくりたいけば、勝山市は「いい町」となり、人が必ず帰ってきて、さらに、人が集まってくると思っています。そのようになれば、人だけでなく、産業や企業もきつと目を向けるようになります。

これからは、このようなコンセプトと、それに基づくまちづくりを行政と市民が一体となって推進していくことが、結果的に人を惹き付け、企業進出を促すことにつながる重要なファクターだと考えます。

勝山市が進めているエコミュージアムの延長線上にはこのような理想がある

り、現在、各地域と行政とが力を合わせて確実に歩を刻み、その姿が見え始めている状況です。

### Q マニフェスト実行について

マニフェストの実行に当たっては、政策遂行にP・D・C・Aサイクル、すなわち計画・実践・評価・改善のサイクルを確実に組み込み、行財政改革を継続し、それで得た財源を市民福祉にバランスよく還元していくつもりです。

### Q マニフェストの内容について

エコミュージアム活動をさらに充実拡大して、市民の力によるまちづくりを推進します。この中で若い世代が参入できる仕組みを作りたいと考えます。

### Q 快適な生活環境のまちづくり

全国に誇れる工口環境都市を実現するため、環境基本計画に基づき多彩な取り組みを推進していきます。

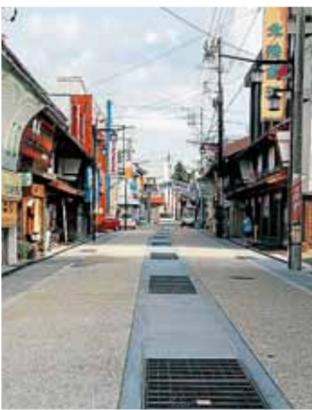
また、全国環境自治体会議を平成24年度に勝山市で開催することを計画します。

### Q 歴史や品格が漂う美しいまちづくり

まちづくり交付金事業による中心市

街地の整備を促進します。

旧機業場をまちなか誘客の拠点とし、本町通り、駅前広場整備、中央公園のリニューアル、白山平泉寺の発掘地の整備とガイダンス施設の整備、木下住宅の国の重要文化財登録などに取り組んでいきます。



### Q 行財政改革と市役所の体制改革

引き続き財務体質の健全化を推進し、平成24年度までにさらに10億円の改革効果実現を目指します。指定管理者制度、包括民間委託などの活用や入札制度と公営企業会計の改善にも引き続き努めていきます。体制改革では、思い切った組織と人事の改革を行います。

### Q 産業と観光の振興

平成21年度を「まちなか誘客元年」として、まちなかに魅力とにぎわいを創出します。

また、産業戦略会議の充実を図り、新しい産業の誘導と新しい企業の誘致を図ります。

### Q 子育て、教育・福祉の充実

「子育て環境モデル都市」を実現するため、子どもたちが人間性豊かに育つための取り組みを推進します。



保育料軽減など県下でトップクラスの子育て支援を堅持していくほか、奥越養護学校の誘致を進め、小中学校の統廃合について地区の検討委員会の協議を尊重して取り組みます。

### Q 生きがいの持てるまちづくり

男女共同参画の推進と若者、高齢者の生きがいを健康事業を充実していきます。高齢者のがん検診の無料化と健康教育の充実などに努めます。

さらに、総合体育館建設に向けて検討委員会をつくらせて取り組むほか、妊婦・乳幼児健診の公費負担の充実、男女共同参画行動計画の推進、ふるさと検定の実施に向けても精力的に取り組みます。

### Q 安全安心なまちづくり

学校など市の公共施設の耐震化を促進するとともに、同報系防災無線の整



備、市民向け緊急メール配信システムの確立、自主防災組織への支援などを新たに実施し、防災対策の充実をはかります。

また、福井社会保険病院の機能継続に向けた取り組みを強めます。

### Q 第5次総合計画基本構想について

これまでの総合計画は、右肩上がりの経済情勢や人口増加を前提にしたものでしたが、第5次総合計画では、少子高齢化、過疎化などの現実を直視し、長期的な視野に立った新しいまちづくりの運営体制をつくる必要があると考えます。

これを軸として、各地区や世代別、特にこれからの勝山市を担っていく若い世代との市民対話を深め、基本計画や都市計画マスタープランの核となる基本構想の策定に努めたいと思っています。